

平成 30 年度 第 1 回 自立支援協議会発達部会研修会 議事録	
日 時	平成 30 年 8 月 10 日(金) 14 時 00 分～16 時 30 分
開催場所	中区役所 7 階
参加者	27 名
欠席者	
開催形態	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 (傍聴人： 名) ・ <input type="checkbox"/> 非公開
議 題	
議 事	<p>1 あいさつ 中区役所 高齢・障害支援課 障害支援担当 係長のあいさつ</p> <p>2 冠地 情 先生の紹介 (司会より) 対人関係で悩んでいる当事者 (自身を含む) が多いことを実感し、過去に行っていた演劇表現ワークショップをヒントに、コミュニケーションを楽しく試すイイトコサガシを 2009 年に設立。1000 回以上のワークショップの開催。福祉・教育・医療関係機関等と 200 回以上の連携。新聞・雑誌等に 50 回以上活動が掲載される。</p> <p>3 研修 「生きやすさを探すイイトコサガシ」～発達障害って?～ 前半：講演会 パワーポイントの配布資料は、無し。 【イイトコサガシとは?】 ◇問題点を出す事 相手が自分で言葉にしてくれて時、自分の意識で出したこと 受け止めがない＝生きづらさ 主は、「本人」であること。支援者や家族は手助けが出来るが・・・。 ◇できる・できない 「できたらいいよね」できる中で探す事が多い。できる、できないを脇に置くことが必要。できないことも硬直して、できない事が確立してしまう。 できないなりの見方が増えた→あきらめない。 ◇MAX でやる意味→落としどころを見つける為。できないところをできないなりに向き合っていること。 ○やる気のある人なら、誰でも自分の魅力・才能・可能性を試行錯誤 (チャレンジ) できる。 ○やる気のある人なら、誰でも色々な人たちと楽しく (トライ&エラー) できる。</p>

○やる気のある人なら、誰でも新しい人間関係を試行錯誤（模索・探求・追求）できる。

○やる気のある人なら、誰でも自分らしさを感情表現で試行錯誤（やってみなきゃわからない）できる。

○やる気のある人なら、誰でも多種多様な価値観とハイブリッドを目指して試行錯誤（全力投球の完全燃焼）できる。

○やる気のある人なら、誰でも理想と現実のギャップ、自分と他人のギャップから生じる違和感を気づきに変える…そんな対人感情免疫力を試行錯誤（スクラップ&ビルド）できる。

イイトコサガシは、コミュニケーションに特化したサードプレイス。ワークショップを使って、試した時点で大成功&大成長。実践していきます。

※サードプレイスとは？「家族・職場・学校ではない、生活・金銭・人間関係のしがらみが殆どない、第3の場」

※ワークショップとは？「一つの目的に向かって、皆で共創していくための場」

休憩：10分間

後半：ワークショップ

イイトコサガシ「やってみよう」ワークショップ

●各テーブルで互いに質問を出し合い、答えていく

・今回前半の講義の内容で気になった事を質問していく。

一対一で、質問時間30秒間話し続ける。その返答に20秒間話し続ける。

・ポイントは、～と思うけど、あなたはと思うという様な形式で質問をする。

・心構えとしては、正直な気持ちで答える。前置きはなし。相手と本気で向きあいたいためにこなう。

●「Aさん大好き」～魔法の言葉・3つ～

例) Aさんの好きな事に関して、Bさん、Cさん、Dさんから質問を受ける。

Bさん：Aさんは「 」が大好きという事ですが、そのきっかけは？

Aさん：「30秒で答える」

Cさん：Aさんは「 」が大好きという事ですが、その魅力は？

Aさん：「30秒で答える」

Dさん：Aさんは「 」が大好きという事ですが、そのおもしろエピソードは？

Aさん：「30秒で答える」

◇できる、できないは、脇において、他者が決めないMAX。経験する場がない。

◇ハードルを低く設定している。

◇相手に興味があり好きだから知りたい、質問をする。互いにコミュニケーション

ョン、楽しいことを伝える。関係性が自然体になる。反省はしない。先読みもしない。

◇30秒の設定について、「もう少し話したいな」「生きづらさの人が30秒なら頑張れる」「30秒で回すと回りやすい」「話が長い人、短い人もまとめやすい」

4 質疑応答

○12のステップと先生が話された事が似ているのですが？

→12のステップに当てはまる部分もありますが、いいとこどりができたらいいのかなと思います。

○人が嫌な事に対して、親のアプローチと冠地さんのアプローチではどんな違いがありますか？

→いけない事、それも理屈でわかっている。だから少しずつし機会、知ることを知る。違う人の意見や価値観がある人と話すようになって来て楽しいと思えるような機会を作る。互いに有意義なコミュニケーションができる可能性がある。好き嫌いの超越→大人が子供に見せたい。互いを傷つけてはいない関係。

○冠地さんの講演会やワークショップは定期的を開催していますか？

→「イイトコサガシ」は人間関係をつくる場でないということ。その時間に居心地のいい場所になればいい。居場所が別にある、イイトコサガシがある。イイトコサガシは試したところで大成功。

生きづらさを抱えた人たちに対して、正直であること。可能性が出てくる。

- ・参加者（希望者）と講師で写真撮影
- ・アンケートの記入

5 関係機関紹介

- ・東部ユースプラザの紹介
- ・中区自立支援協議会 発達障害部会より部会説明および構成員募集

6 閉会のあいさつ

発達障害部会 30年度 部会長より